

め の と



令和5年11月10日

長崎市立女の都小学校 校長 佐藤和幸

小音会、子どもたちが輝いていました！

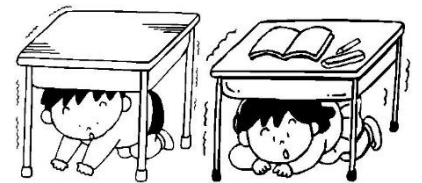
今週に入り、気温が下がりました。一気に季節が変わった感じがします。子どもたちの服装も、秋から冬ものへと変わってきているようです。今年はインフルエンザの流行が早く始まっており、全国的に感染者が多くなっています。気温が下がりと乾燥した日が続くとさらに罹患者が増える可能性もあります。子どもたちにも繰り返し感染予防について指導をしているところです。保護者の皆様、ご家族様も十分気を付けられてください。

さて、7日（火）には4年生の子どもたちがブリックホールで行われた小音会に出演しました。今年は保護者の皆様の入場が可能だったため、直接演奏を聞かれた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私は残念ながら出張のため会場に行くことはできませんでしたが、教頭先生から練習の成果を発揮できた立派な演奏だったと聞きました。小音会当日までの毎日練習に取り組む姿勢、あと半年で高学年となる子どもたちの成長を感じることができました。4年生の皆さん、お疲れさまでした。いい経験ができましたね。



避難訓練（地震）

6日（月）避難訓練を実施しました。今回は地震が発生した時の避難の仕方を確認しました。計画では、揺れがおさまった後、運動場に避難する予定でしたが、雨の予報が出ていたため、廊下に整列後、体育館で全体指導を行いました。



地震大国と言われる日本では、震度1以上の地震が年間2000回程度発生しています。また、地震がいつ起こるのかを正確に予想することは大変難しく、万一の場合、安全に避難するためには避難訓練は不可欠です。さらに、大きな地震に伴って起こる災害も非常に危険です。建物の倒壊、地滑り、津波、そして火災といずれも命に係わる災害です。（今からちょうど100年前に発生した関東大震災では、亡くなられた方々約10万人のうち、9万人以上の方は火災が原因で亡くなっています。）

体育館での全体指導では、避難訓練は、命に係わる大切な訓練なので、真剣に参加すること、一番大切な自分の命を自分で守ることができるようになること、そして、避難時の合言葉「お・は・し・も」について確認しました。

※ ①: おさない、②: はしらない、③: しやべらない、④: もどらない

秋のブルーフェスティバル、準備を進めています

19日（日）のブルーフェスティバルが近づいてきました。女の都小学校のブルーフェスティバルは、日ごろの学習で学んだことや身に付けたことなどを発表・発信する場です。会場に来てくださる保護者の皆様や地域の方々に、分かりやすく伝えるためにはどうすればいいかを考えながら、毎日準備や練習に取り組んでいます。今年は来場制限を設けません。感染対策や防寒対策は、各自でよろしく願います。また、座席には限りがありますので、譲り合ってのご参観をお願いします。